

令和〇〇年度 個別の教育支援計画
〔個別の指導計画〕

令和〇〇年 4 月 2 5 日記入

ふりがな 氏 名	〇〇〇〇 〇〇〇 〇 〇 〇 〇	性 別	〇	学 級	2 年〇組	記入者 (所属)	〇 〇 〇 〇 (担任)
-------------	---------------------	--------	---	--------	-------	-------------	-----------------

(年 間)

目 標	〇課題を期限内に提出できる。
評 価	

(1 学期)

	実 態	指導目標	指導場面	指導の手立て	評価
学 習 面	【うまくいっている状況】 〇学習意欲が高く、特に数学は粘り強く問題を解いている。 【つまづいている中でもうまくいっている状況】 〇書写に時間がかかりノートや課題の提出状況が良くないが、何度か声を掛けて確認すると提出することができる。	〇期限が過ぎてしまったとしても最後まで課題をやり遂げることができる。	毎時間 教室 教科担任 担任 特支コーディネーター	〇できている部分に注目させながら、目標までの道筋を示す。 ・取組をせかさず、できていることを褒める。 ・進捗状況を確認して課題の提出の順番を調整する。 ・課題の一覧表を作成させ、取組状況を確認させる。	→やり遂げられる課題が増え、提出状況が改善した。しかし、作文の課題は苦手意識からほぼ手を付けることができなかった。
生 活 面	【うまくいっている状況】 〇部活動を2部かけ持ちし、活動を楽しみにしている。 【つまづいている中でもうまくいっている状況】 〇部活動の間ずっと一人で行動していることがあるが、友達とかかわろうという気持ちはあり、休まず参加している。	〇部活動で1日1回は自分から友達に話しかけることができる。	部活動の時間 体育館 書道室 部活動顧問担任	〇出席記録係を設け、出欠を付ける役割分担を与える。 ・毎日記録の確認をして褒める。 ・新入部員の顔と名前が一致するように、顔写真と名前を一覧にして渡す。	→出欠記録係の役割と顔写真により、友達に話しかける機会が増えた。

本人及び保護者の 願 い	【本人】 ・友達と仲良く過ごせるようになりたい。 ・ペット関係の仕事に就き、親元を離れて暮らしたい。 【保護者】 ・友達と仲良く学校生活を送ってほしい。 ・本人に合う進路を見つけてほしい。
健康上の 配 慮 等	・アスペルガー症候群の診断（〇〇〇〇病院・小学校2年生時）

合理的 配慮	教育内容・ 方法	・教師の指示や連絡に対応できるようにするために、メモを取る時間を確保する。
	支援体制	・本生徒に必要な支援の方法について教職員が共通理解の下、指導・支援に当たる。 ・特別支援教育コーディネーターが、教科間で課題を提出する順番を調整する。
	施設・設備	・クールダウンの場として、保健室や教育相談室を使用できるようにする。

記載内容について承諾しました。

令和〇〇年 5 月 1 0 日 保護者氏名 (〇〇 〇〇)